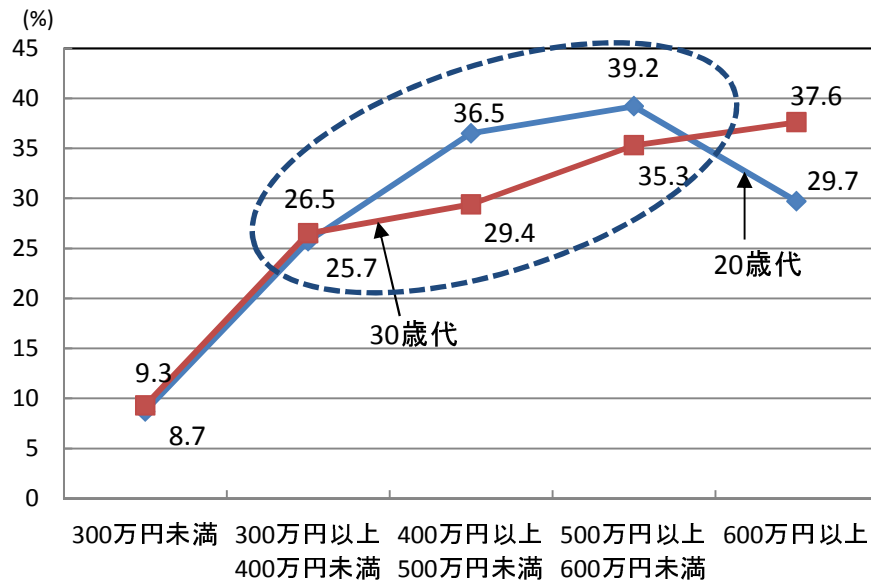


4 若者の雇用環境と結婚

(1) 男性の有配偶率(20~30歳代年収別)(全国)

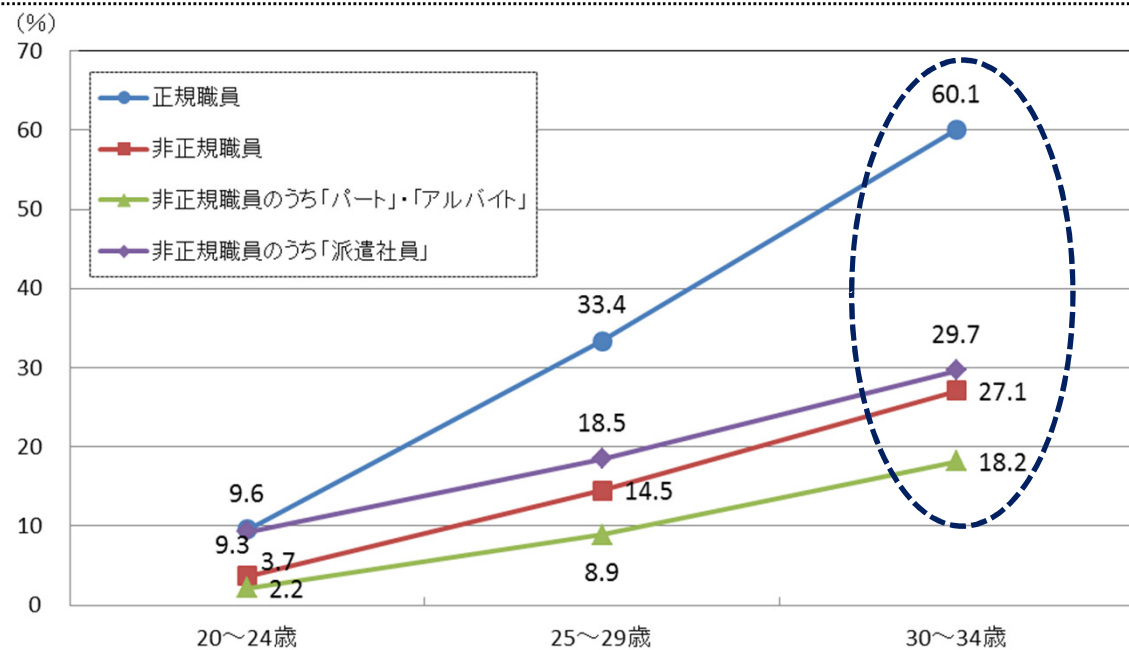
○結婚3年以内の既婚者と未婚者を対象に、年収別に男性の既婚率をみると、**年収の増加に伴い、既婚率は概ね上昇**していく。
 ○**既婚率**は、年収300万円未満では1割に満たないが、300万円以上400万円未満では25%を超えており、**年収300万円を境に大きな差**が存在している。



「結婚・家族形成に関する調査報告書」(内閣府)より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成
 ※調査対象は、20~39歳の男女。既婚者は結婚3年以内
 ※性別・年代・未婚については「平成17年国勢調査報告書」(総務省)をもとにウェイトバック集計。
 ※「300万円未満」は「収入がなかった」、「100万円未満」、「100万円以上200万円未満」、「200万円以上300万円未満」の合計
 ※「600万円以上」は「600万円以上800万円未満」、「800万円以上1,000万円未満」、「1,000万円以上」の合計

(2) 男性の有配偶率(年齢階層別・雇用形態別)(全国)

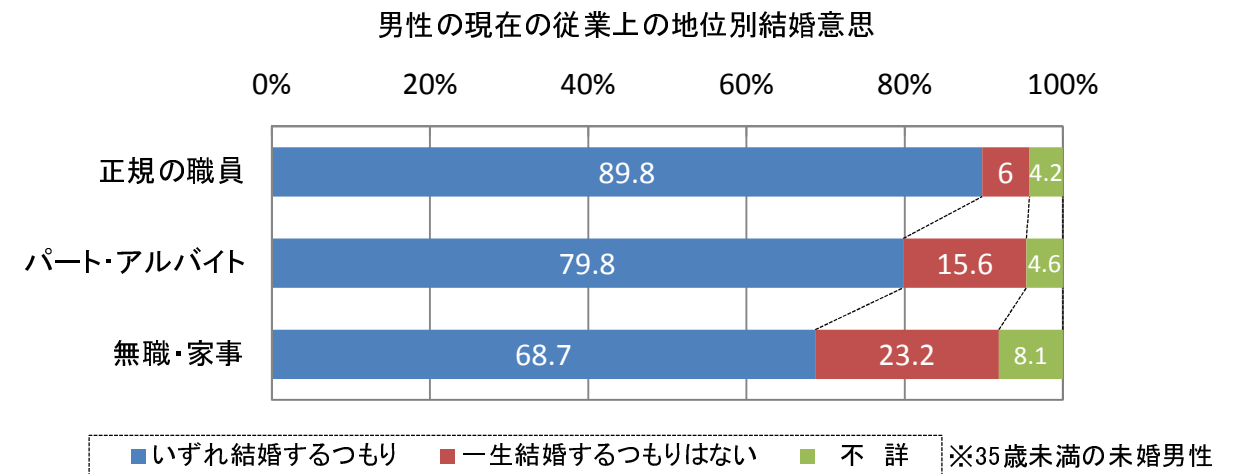
○非正規職員の男性の有配偶率は低く、**30~34歳では非正規職員の有配偶率は正規職員の半分以下**。雇用形態の違いにより、家庭を持てる割合が異なっている。
 ○年収別に男性の有配偶率をみると、**一定水準までは年収が高い人ほど結婚**している。



平成24年就業構造基本調査(総務省)

(3) 男性の雇用形態と結婚意欲(全国)

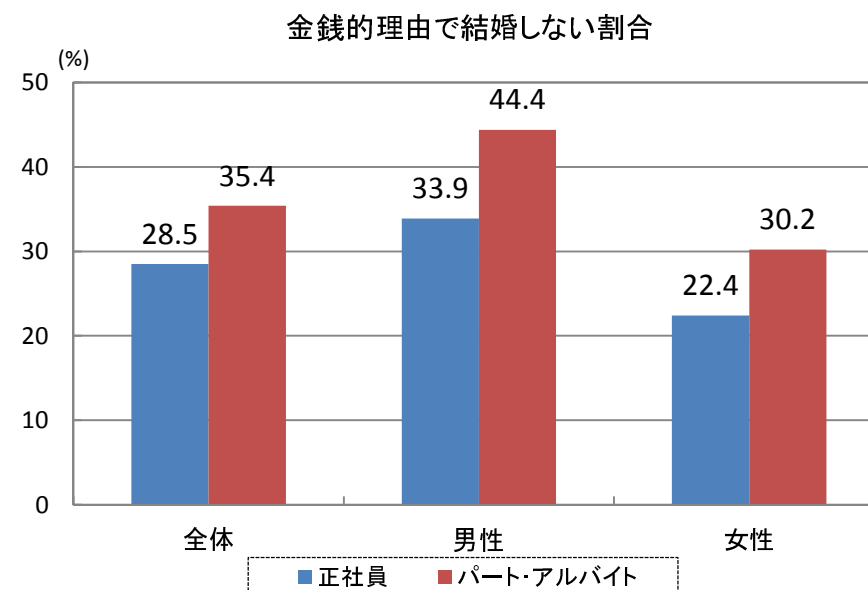
○「パート・アルバイト」や「無職・家事」は、「正規の職員」に比べて、**結婚意欲は低い**。



第14回(H22)出生動向基本調査(国立社会保障・人口問題研究所)

(4) 雇用形態別金銭的理由で結婚しない割合(全国)

○若年の未婚者が現在未婚でいる理由(複数回答)は、「結婚したい相手にめぐり合わないから」が約4割で最も多いが、次いで「**金銭的に余裕がないから**」が約3割。
 ○男性の「パート・アルバイト」では、「**金銭的に余裕がないから**」が未婚の最大の理由となっている。



※回答者は、全国の学生を除く20~34歳の未婚男女
 ※現在未婚でいる理由を「金銭的に余裕がない(結婚資金が足りない)から」と回答した人の割合(複数回答)
 ※「正社員」は「正規の職員・従業員」、「パート・アルバイト」は「パート・アルバイト」、「派遣社員」の合計

2003年若年層の意識実態調査(内閣府)